

令和2年3月18日

政務活動費使用計画届出書

届出者 澤田勝（代表者）／芳金秀展／伊藤正興／水野尚美／岩田玲子／鈴木幸彦／
沢田清／久世孝宏／渡辺昭司／石川英之／榊原伸行／坂井美穂／山田清一／
山本半治／小栗佳仁／小出義一

○使途項目（○をつける） 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

新半田病院の経営について ～議会の役割～

○目的

（半田市にどのように活用できるか、半田市の可能性をどのように切り拓けるか）

半田病院は、令和7年完成予定の新半田病院建設に向けて、昨年12月に「新半田病院建設構想（改訂版）」を示しました。また、常滑市民病院との経営統合に向けて協議を重ね、地方独立行政法人化へと進み、大きな変革の時を迎えています。そこで自治体病院経営の第一人者でもある城西大学教授の井関友伸氏をお招きし、新半田病院建設構想について考え方や常滑市民病院との経営統合、今後の経営のポイントなどについて講演をしていただき、半田病院の経営について考え方を学び、今後の議員活動として学びます。

○概要

（どこに何を調査しに行くのか。視察の場合は特にその特徴は何か、事前調査すること）

日にち 令和2年4月22日（水）
行先・内容 令和2年4月22日 13：30～16：30
城西大学井関友伸教授：埼玉県庁で県民部県民総務課、川越土木事務所、出納局出納総務課、大利根町企画財政課、総合政策部計画調整課、健康福祉部県立病院課などの勤務経験、現在城西大学では行政学・地方自治論博士となり、総務省公立病院改革の調査研究委員を務める。井関教授は、地方自治体と自治体病院経営の両知識を併せ持つ全国でも数少ない教授であります。現在半田病院は、新病院建設事業、常滑市民病院との経営統合、そして、地方独立行政法人化と大きな変革を専門的な見解を聞くため講師として招きます。
○半田病院の経営について、議会の役割
・新半田病院建設構想（改訂版）について講師の見解
・常滑市民病院との経営統合後の課題について
・地方独立行政法人化としての課題と議会の役割

確認欄	議長	管理委員長



